

2009年5月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 W O W O W  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 和 崎 信 哉  
(コード番号 4839 東証マザーズ)

### 平成 21 年 3 月 期 (2008 年 度) 決 算 の お 知 ら せ

当社は、平成 21 年 5 月 15 日開催の取締役会において、平成 21 年 3 月 期 (2008 年 度) 決 算 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) を確定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細は別紙の通りです。

【問合せ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080  
(IR関係) IR 経 理 部 TEL03(4330)8089

## 平成 21 年 3 月期（2008 年度）決算に関するご説明

### ① 平成 21 年 3 月期（2008 年度）決算の加入状況

当連結会計年度は、積極的なオリジナル番組の強化がWOWOWの魅力を高め、ビックイベントが好評を博した年となりました。新たに開始したオリジナル連続ドラマやドキュメンタリー初のシリーズ番組が好評を得たことに加え、4年に一度の祭典「UEFA EURO2008TM サッカー欧州選手権」などをお届けしたことが加入の追い風となりました。

また、同時に営業施策としては加入料を廃止するなど、デジタル加入促進への環境整備に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の新規加入件数は、664,302件（前期比18.7%増、内BSデジタル537,286件）、解約件数は626,089件（同12.7%増、内BSデジタル379,499件）となり、新規加入件数から解約件数を差し引きました正味加入件数は38,213件の増加（前年同期に比べ34,034件の増加）となりました。当連結会計年度末の累計正味加入件数は2,475,977件（同1.6%増、内BSデジタル1,734,743件）となりました。また、平成20（2008）年4月1日から制度化したデジタルダブル契約（注1）は、当連結会計年度末時点において124,313件となっております。

### ② 平成 21 年 3 月期（2008 年度）決算の収支状況

当連結会計年度における収支の状況は、累計正味加入件数の増加及びデジタル加入件数の増加により有料放送収入が増加し、売上高は669億24百万円と前期に比べ15億4百万円（2.3%）の増収となりました。一方、コンテンツ強化による番組費の大幅増加及び広告宣伝費投下等により、営業利益は、40億18百万円と前期に比べ14億30百万円（26.3%）の減益となりました。営業外におきまして為替差益が1億63百万円と前期に比べ2億43百万円減少し、経常利益は、43億47百万円と前期に比べ17億82百万円（29.1%）の減益となりました。当期純利益は、法人税等15億71百万円及び法人税等調整額△4億85百万円等を計上したことにより30億51百万円と前期に比べ3億86百万円（11.2%）の減益となりました。

### ③ 平成 22 年 3 月期（2009 年度）通期業績予想

平成22（2010）年度3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高663億円（前期比0.9%減）、営業利益47億円（同17.0%増）、経常利益47億円（同8.1%増）、当期純利益27億円（同11.5%減）を見込んでおります。また、正味累計加入件数は1万件の増加（内、デジタルダブル契約3万件）、期末累計正味加入件数は248万6千件（前期比0.4%増、内デジタルダブル契約15万件）を見込んでおります。

引き続きオリジナルコンテンツ制作の一層のレベルアップや話題性がある質の高いコンテンツの確保に努めるとともに、多彩なWOWOWの魅力が体感できる大型イベント「WOWOWフェスティバル」（仮）を自ら仕掛けていきます。さらに「無料放送の日」を軸とした番組訴求型の営業・プロモーションを展開し、4年連続の加入者数純増を目指します。

同時に、放送の完全デジタル化となる平成23（2011）年に向けて、WOWOWが有料放送のリーディングカンパニーとしてあり続けるために、ハイビジョンによる複数チャンネル展開や、IPTV（注2）など新しい伝送路でのサービスの準備を具体的に推し進めていきます。

(注1) デジタルダブル契約は「同一契約者による2つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用（月額2,300円の視聴料金を900円に割引） ※金額は税抜き金額

(注2) IPTVとは「Internet Protocol Television」の略で、インターネット技術を利用して、テレビ放送、映像コンテンツ配信などを行うサービスです。通信速度を保障する機能があるネットワークでは、特定のユーザーに通常の放送と同等の品質を保証したサービスを提供することができます。

株式会社WOWOW 代表取締役社長 和崎 信哉

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれております。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 平成 21 年 3 月期（2008 年度）決算概況表

2009 年 5 月 15 日  
株式会社WOWOW

### 1. 加入状況

（単位：件）

項 目	平成 21 年 3 月期(2008 年度)決算			平成 22 年 3 月期(2009 年度)予想	
	実 績	前年同期実績	対前年同期増減率	予 想 (千件)	対前期増減率
新規加入件数	664,302	559,772	18.7%	580	△12.7%
解約件数	626,089	555,593	12.7%	570	△9.0%
正味加入件数 (内、デジタルダブル)	38,213 (57,791)	4,179	814.4%	10 (30)	△73.8%
累計正味加入件数	2,475,977	2,437,764	1.6%	2,486	0.4%
アナログ	741,234	992,153	△25.3%	489	△34.0%
デジタル (内、デジタルダブル)	1,734,743 (124,313)	1,445,611 (66,522)	20.0%	1,997 (150)	15.1%

\*デジタルダブルは「同一契約者による 2 つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用（月額 2,300 円⇒900 円〔税抜き〕）

### 2. 連結決算

（単位：百万円）

項 目	平成 21 年 3 月期(2008 年度)決算				平成 22 年 3 月期(2009 年度)予想		
	実 績	収入比	前期実績	対前期増減率	予 想	収入比	対前期増減率
売 上 高	66,924	100.0%	65,419	2.3%	66,300	100.0%	△0.9%
営 業 利 益	4,018	6.0%	5,448	△26.3%	4,700	7.1%	17.0%
経 常 利 益	4,347	6.5%	6,130	△29.1%	4,700	7.1%	8.1%
当 期 純 利 益	3,051	4.6%	3,438	△11.2%	2,700	4.1%	△11.5%

※百万円未満を切り捨てております。

### 3. 単体決算

（単位：百万円）

項 目	平成 21 年 3 月期(2008 年度)決算				平成 22 年 3 月期(2009 年度)予想		
	実 績	収入比	前期実績	対前期増減率	予 想	収入比	対前期増減率
売 上 高	62,798	100.0%	61,416	2.3%	62,800	100.0%	0.0%
営 業 利 益	2,489	4.0%	4,140	△39.9%	4,000	6.4%	60.7%
経 常 利 益	3,015	4.8%	4,634	△34.9%	4,200	6.7%	39.3%
当 期 純 利 益	2,432	3.9%	2,666	△8.8%	2,500	4.0%	2.8%

※百万円未満を切り捨てております。

### 4. 配当の状況（四半期配当は実施していません）

1 株当たり配当金 (期末)	平成 21 年 3 月期(2008 年度)決算			平成 22 年 3 月期(2009 年度)予想	
	実 績	前期実績	対前期増減率	予 想	対前期増減率
	3,000 円	3,000 円	0.0%	3,000 円	0.0%